

岐阜市

観光ビジョン

概要版



「市民と描く」岐阜市未来ツーリズム

岐阜の魅力を守り、岐阜の観光を育て、岐阜市民の誇りへ

2020.4 — 2030.3

1. 岐阜市観光ビジョン策定の背景

国が「住んでよし、訪れてよしの国づくり」を目標に掲げる中、本市においても交流人口の拡大から定住人口増加につながる観光振興策を推進することが求められています。

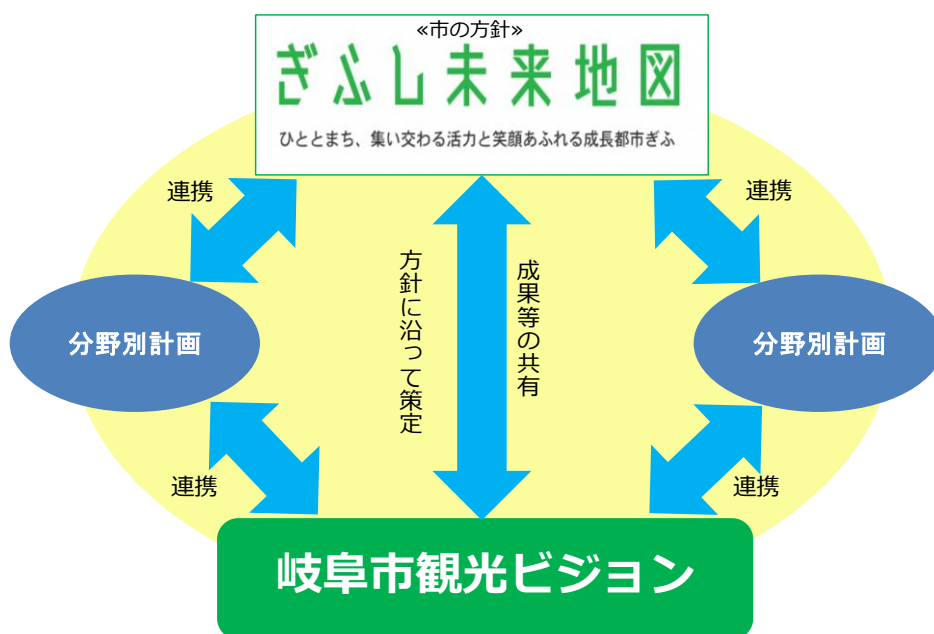
また、全国的に人口減少が進む中、本市の将来にわたる継続的な発展のためには、認知度・魅力度の向上による観光交流人口の増加、ひいては観光を基軸とした産業・雇用の活性化につなげていくことが重要です。

これらの背景を踏まえ、シビックプライドの醸成につながる、観光振興に取り組む中長期的な指針として、「岐阜市観光ビジョン」を策定するものです。

観光ビジョンの位置づけ

市の方針である「ぎふし未来地図（2018年10月策定）」に沿って策定し、関連する分野別計画との連携のもと、相互に補完しながら推進していきます。

図表 観光ビジョンと他計画との関係イメージ



計画期間

2020年度～2029年度（10か年計画：2020年4月～2030年3月）

※重点アクションプランは5か年計画

- 短期（1～2年）、中期（1～5年）、長期（1～10年）の観点で推進します。
- 先行的に実施する重点施策である重点アクションプランは、5か年計画（2020年度～2024年度）とし、観光を取り巻く環境や社会情勢等を踏まえ、改訂を行います。

2. 岐阜市の観光の現状と課題

岐阜市の観光の現状

観光入込の現状

- 観光入込者数は頭打ち（2016年:約654.2万人、2017年:約654.7万人、2018年:約634万人）
- 延宿泊者数は2年連続減少（2016年:約75万人、2017年:約68.4万人、2018年:約57.4万人）
一方、2018年の外国人延宿泊者数は前年比で増加（2017年:約5.9万人、2018年:約6.6万人）

観光消費・意識等に関する現状

- 低い市内回遊率（平均立ち寄り地点数は、1.38と限定的）
- 十分ではない観光消費効果
（消費単価は岐阜県より若干高いものの高山市より低く、観光消費効果が乏しい）
- 観光都市としての市民意識・観光資源への誇りが希薄（魅力の認知が不十分）
- 観光での岐阜市への訪問意向率^{*}は約7割と比較的高い
※「行ったことがあり、また行きたい」及び「行ったことはないが行きたい」
- 岐阜市を観光したことがない理由は認知度不足（どんな観光があるのか知らない：約43%）

観光を取り巻く環境変化

- 市内総生産（約9割が第3次産業）は横ばい
（観光の主産業である「宿泊業・飲食サービス業」は事業所・従業者数ともに減少傾向）

懇話会（有識者会議）や事業者等ヒアリング、市民ワークショップ等で得られた意見

現状や各種意見を
踏まえた課題

岐阜市の観光の課題

- 課題1 岐阜市の魅力再整理（魅力の再認識、再発見／目玉となる観光資源の創出）
- 課題2 消費額増加による産業活性化（観光産業の裾野拡大／宿泊強化／市内回遊・滞在促進）
- 課題3 推進体制の明確化（役割が不明確／広域連携の推進／観光まちづくりの議論の場の組成）
- 課題4 受入環境整備（ストレスフリーな観光環境／2次交通等不十分な受入環境）
- 課題5 人材育成（「人」を活用した魅力創出／市のファンづくり／自慢できる観光地づくり）
- 課題6 マーケティング（マーケティングの継続実施と戦略の構築／観光統計の整備不足）
- 課題7 プロモーション（岐阜の良さの集客への展開／PR不足・情報発信強化）

3. ビジョンコンセプトと取組の方向性

本ビジョンは、本市が目指す姿であるコンセプトをもとに、3つの基本理念、7つの基本戦略、先行的に実施する重点施策である5つの重点アクションプランで構成します。

また、これらの取組みの指標として5つの目標を掲げ、ビジョンを推進します。

ビジョンコンセプト（目指す姿）

「市民と描く」岐阜市未来ツーリズム

～岐阜の魅力を守り・岐阜の観光を育て・岐阜市民の誇りへ～

基本理念

① シビックプライド～市民の誇りにつながる観光

〈既存の観光魅力の向上と新たな魅力の創出〉

② 観光を基軸とした持続可能なまちづくり

〈「まちを守り、歴史文化を継続し、産業を維持し、人が住み続ける」取り組みの推進〉

③ 稼げる岐阜観光を目指して～観光振興による産業活性化

〈市内回遊性の向上や観光関連産業の活性化による地域内消費循環率の向上〉

数値目標（2029年度（10年後）の達成目標）

目標	目標値
目標 1 市内主要観光施設延入込者数	▼岐阜城・長良川温泉・ぎふ長良川の鶺鴒 延入込者数の合計 2018年比、6.0万人増（約62.5万人→約68.5万人）
目標 2 市内延宿泊者数	▼延宿泊者数 2018年比、2万人増（約57万人→約59万人） ▼国内延宿泊者数 現状（2018年）維持（約50.4万人） ▼外国人延宿泊者数 2018年比、2万人増（約30%、約6.6万人→約8.6万人）
目標 3 観光消費に伴う岐阜市への経済波及効果	▼2017年試算比、約10%増（約390億円→約429億円）
目標 4 岐阜市への訪問意向率	▼「行ったことがあり、また行きたい」と「行ったことはないが行きたい」と回答した割合 80%以上（2019年：73.2%） ▼岐阜市の各観光資源への関心について、「知らない」、「関心はない」と回答した割合 減少
目標 5 市民の誇り度	▼市内の各観光資源の魅力度 2018年度比10%以上増（2018年度：岐阜城・金華山：69.4%、ぎふ長良川の鶺鴒：57.2%、織田信長：26.5%など） ▼観光資源が豊かなまちだと思う人の割合 60%以上（2018年度：53.9%） [参考：ぎふし未来地図の数値目標（2028年度）] 市民であることに誇りを感じる人の割合：50%以上

基本戦略（施策方針） 〔基本理念に基づく観光ビジョンの基本戦略〕

①創る～岐阜の魅力新発見・再発見

- ・魅力の新たな掘り起こしや、既存資源の活用により観光魅力の創造を図る

②稼ぐ～魅力の創出による産業への波及

- ・観光魅力の創造により、観光を含めた多角的な産業の活性化を図る

③つながる～広域連携、オール岐阜での官民一体となった推進

- ・インバウンドを含む観光客誘致に向け、周辺市町、広域エリア各地との連携により推進

④もてなす～受入環境整備、おもてなし

- ・まち全体で観光客を温かく受け入れるおもてなし観光都市の推進

⑤育てる～観光人材育成、市民の誇り醸成

- ・観光人材の育成により、シビックプライドを高め、魅力の底上げを図る

⑥掴む～継続的マーケティングの実施

- ・市の観光統計を整備するとともに、明確なマーケティング戦略の構築を図る

⑦伝える～効果的なプロモーション・情報発信

- ・マーケティングに基づいた効果的なプロモーションを展開

重点アクションプラン 〔基本理念・基本戦略に基づき先行実施する重点施策〕

①戦国城下町の観光活用～岐阜城周辺の観光展開～

- ・岐阜城周辺エリアの歴史・文化を活かした魅力や価値の発信・創出を図る

取組 戦国城下町の 保存利活用／ブランド化／魅力創出／おもてなし／魅力活用

②岐阜ゲートウェイ化～周辺主要観光地と連携した「ハブ拠点化」とインバウンド誘致促進～

- ・アクセスの良さなど、立地の強みを活かし、観光拠点として宿泊客の誘致を図る

取組 宿泊客誘致／市内回遊促進／宿泊客へのおもてなし推進／広域連携

③岐阜観光ブランド・魅力創出～既存観光資源と新たな観光資源の掘り起こしによる魅力創出～

- ・受け継がれてきた“本物”や、新たな観光資源のさらなる魅力向上を図る

取組 既存観光資源の磨き上げ／魅力発見・魅力創出／魅力発信・啓発

④シビックプライド醸成、オール市民ツーリズム～「市民」による岐阜の魅力再認識と誇りの醸成～

- ・市民が観光資源を誇りに思えるよう、市民意識の向上や市民参画機会の創出を図る

取組 観光意識醸成・観光人材育成／おもてなし／市民向け・市民による情報発信強化

⑤MICE*への本格展開

～コンベンション都市の継続推進とイベントを核とする「MICE 都市」としての本格展開～

- ・経済波及効果と呼び観光周遊にも資する、イベントを核とした MICE 誘致を推進

取組 (MICE) 都市としてのブランド化・積極的な誘致／2次展開（消費、周遊等）の推進

*Meeting(会議)、Incentive travel(報奨・招待旅行)、Convention(学会・国際会議)、Exhibition(展示会)/Eventの頭文字をとった造語。

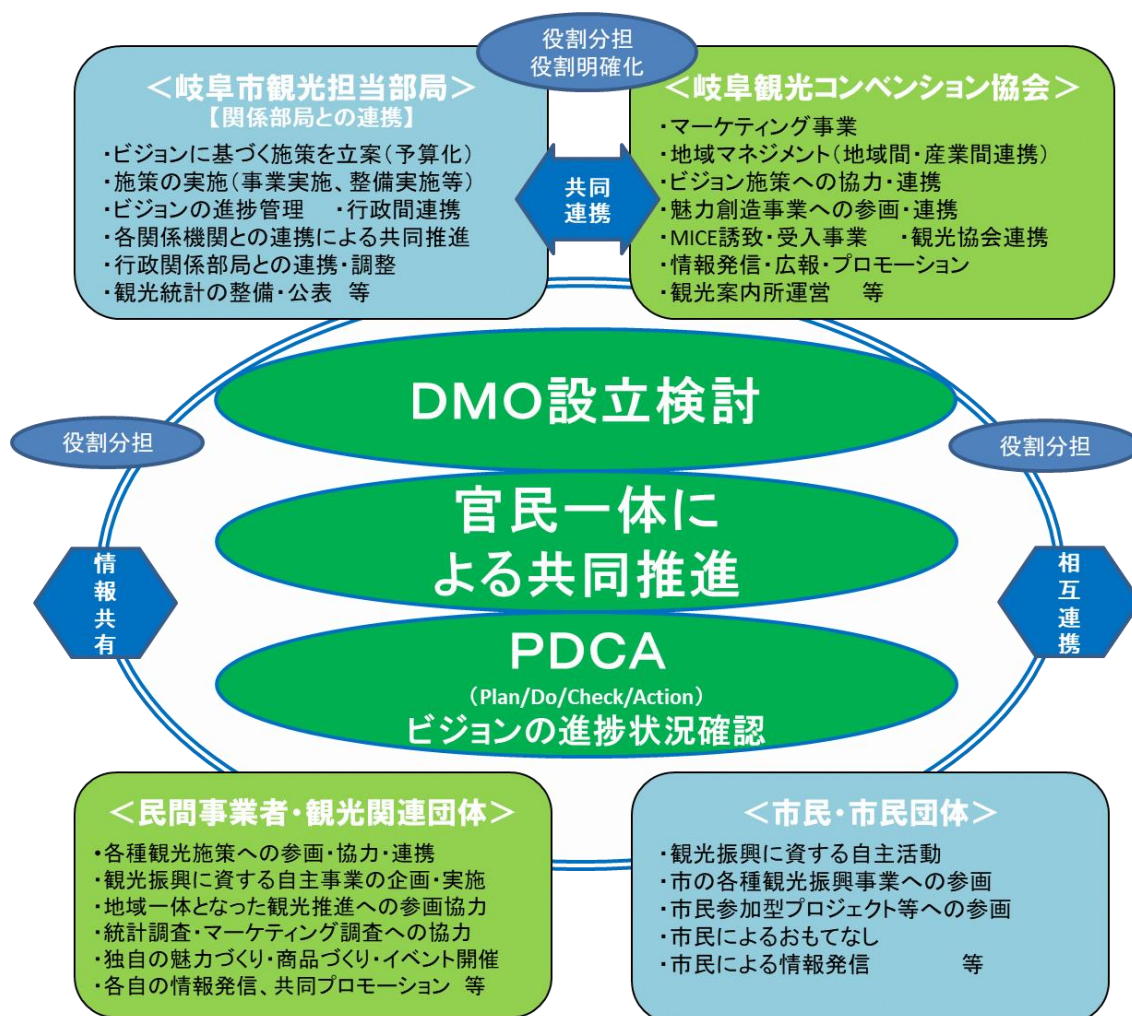
4. ビジョン推進体制と役割分担

ビジョン実現に向けた各種事業の実施にあたっては、官民一体で取り組むもの、あるいは各関係機関が担うものなど役割分担や情報共有を図り、相互に連携をしながら一体感をもって推進します。

また、ビジョンは岐阜市観光担当部局を中心に推進し、あわせて市域の観光振興の舵取り役となるDMO※の設立を検討します。本市観光を取り巻く実情に応じ、果たすべき機能・役割など、DMOのあり方を多様な関係者とともに検討する過程において、改めて担い手それぞれの役割も整理していきます。

市民の皆様も重要な担い手です。岐阜市の歴史・伝統文化を知り、その魅力を訪れる人に伝えるなど、おもてなしが観光振興の大きな力となります。

図表 ビジョン推進体制と各主体の役割分担



※Destination Management/Marketing Organization) の略。観光庁は「日本版 DMO (観光地域づくり法人)」を、地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人としている。

岐阜市観光ビジョン [概要版]

2020年3月

発行 | 岐阜市

編集 | 岐阜市 商工観光部 商工観光政策課

〒500-8701 岐阜市今沢町18番地

TEL 058-265-4141 (代表)

ホームページ <http://www.city.gifu.lg.jp/>